



IOSCO/MR/12/2022

マドリード、2022年6月6日

IOSCOによる世界投資者週間 2022 の開催(2022年10月3日から9日)について

証券監督者国際機構(IOSCO)は、2022年10月3日から9日にかけて、第6回世界投資者週間(WIW)を開催する予定である。世界的なパンデミックの展開が一様でないことを踏まえ、今年も各法域は、金融教育と投資者教育を促進するために、引き続き10月もしくは11月のいずれかの週を選択し、また、それに応じてキャンペーンの形式を変更し開催することができる。

世界投資者週間は、投資者教育と投資者保護の重要性に対する認識を高めることを目的とした、1週間にわたる世界的なキャンペーンである。IOSCOは全IOSCOメンバーに世界投資者週間への参加を呼びかけているが、投資者教育と投資者保護の促進に関心を持つ他の国際機関や地域機関、地元関係者も参加することができる。

2022年の世界投資者週間の主要なメッセージは、(1)投資家のレジリエンス、(2)サステナブルファイナンスという2つのテーマに基づいている。これらのメッセージは、詐欺防止、暗号資産など、以前の世界投資者週間のメッセージを補完するものとなっている。

アシュリー・オルダーIOSCO代表理事会議長 兼 香港証券先物委員会 CEOは、「第6回世界投資者週間を歓迎する。この2年間、世界的なパンデミックの中で証券市場に参加する個人投資家の数が増加してきた。これらの投資家は、インフレ圧力や地政学的緊張から生じる不確実性などの新たな課題に直面している。金融教育と投資者保護は、適切な情報に基づいて金融市場に参加できるよう、投資者のレジリエンスを高め、投資者の信頼を醸成する上で重要な役割を果たしている。」と述べた。

IOSCO の個人投資家に関する委員会のパスクアーレ・ムナフォ議長は、「個人投資家は現在、新たな機会を創出する一方でリスクも増大する、急速に変化する環境にさらされている。投資者教育は、機会とリスクの両方に対する認識を高め、投資家の理解を深め、十分な情報に基づいた意思決定を行うための手段である。」と述べた。

2022 年の世界投資者週間および参加方法に関する追加的な詳細は、世界投資者週間のウェブサイト(www.worldinvestorweek.org)で入手可能である。世界投資者週間のウェブサイトは、この世界的な取組を支援している様々な参加当局および国際機関に関する詳細も提供している。

NOTES TO THE EDITORS については省略。

NOTE: This media release is a translation of the original English-language version and its content has not been verified by the IOSCO General Secretariat. For the original, please see <https://www.iosco.org/news/pdf/IOSCONEWS645.pdf>